



新年を迎え、鹿児島聾学校も幼児児童生徒36人の笑顔あふれる3学期がスタートしました。さて、鹿児島県内にきこえにくさのある児童生徒がどれくらいいるか、御存じでしょうか。

難聴の通級指導教室、支援学級の数や在籍児童生徒数は右のとおりです。

(令和6年4月県難聴・言語障害教育研究会による調査より)

	小学生		中学生	
難聴通級指導教室	2校	10人		
難聴支援学級	13校	17人	11校	13人

ただし、通常の学級に在籍し、合理的配慮のみを受ける、言語通級指導教室を利用するなどのケースも多く、地域で頑張っている児童生徒や保護者、担当教員はもっといることになり、孤軍奮闘していることも多々あります。聴覚相談センターは今年もセンターだよりや各種研修、相談を通して、児童生徒や先生方のチャレンジを支える様々な情報をお届けしていきます！

2025年もどうぞよろしくお願いいたします。



地域の幼児児童生徒13人が集まった5月のきこえの交流会(運動会種目参加)

第3回 鹿児島きこえの交流会 報告&アンケート

今年度の鹿児島きこえの交流会は、5月と12月に開催され、きこえない・きこえにくい子どもたちの交流や、鹿児島国際大学名誉教授蓑毛良助先生の講演会を実施しました。「楽しかったから、来年も来たい!」「蓑毛先生の実体験や、教え子さんのお話がとても勉強になりました。子どもの可能性を信じて、チャレンジをサポートしたいと思います。」など、普段は地域で頑張っている子どもたちや保護者の方々は大きな刺激を受けたようでした。

次年度も参加者のニーズに応える交流会を実施したいと考えていますので、右の二次元コードから交流会への要望をぜひお聞かせください。



御回答よろしく
お願いします♪
×切…2/14(金)



～ 就学・進学に関連して ～

中学3年生、高校3年生は目前に迫った受験や新たな環境に向けてひたむきに勉強をしている時期ですね。きこえにくさのある生徒のチャレンジには以下のようなサポートが必要な場合があります。生徒を支える先生や保護者の方々、もしお困りでしたら、ぜひ聴覚相談センターへ御相談ください。

◎受験における合理的配慮等(視覚的な指示、リスニング問題の代替措置、面接等の補聴手段など)

◎進学先との移行支援会議(座席配置や補聴システムなど学習等で必要な支援、配慮の引き継ぎなど)

☆幼児・児童に対する就学、進学前の相談も含め、随時対応しております。

鹿児島県立鹿児島聾学校

聴覚相談センター(外園)

【直通】TEL 099-228-2300 / FAX 099-228-2311



お気軽に ご相談ください(^_-)☆

★ 相談は無料です。

★ 相談内容に関する秘密は
厳守します。

★ 全ての支援事業は聾学校への
就学を勧めるものではありません。